

情報公開文書

2025 年 2 月 17 日 第 1 版

1. 研究の名称

臨床写真に基づく深層学習を活用した皮膚疾患画像分析 ～シミの鑑別への応用～

2. 倫理審査と許可

近畿大学医学部倫理委員会の審査を受け、各研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

1) 主研究機関

近畿大学医学部 皮膚科学教室 主任教授 大塚 篤司

2) 自研究機関

京都大学医学部 皮膚科学教室 教授 梶島 健治

2) 研究機関以外において、既存試料・情報の提供を行う者が含まれる場合は、当該者の氏名、当該者の所属する機関の名称(多数にわたる場合は提供を行う者全体に関する属性等)

なし

4. 研究の目的・意義

一般的に「シミ」とよばれる病変には、老人性色素斑・雀卵斑・肝斑・Acquired dermal melanocytosis (ADM)・炎症性色素沈着など、様々な皮膚疾患が含まれています。これらの疾患は原因や治療法が異なるため、治療前に正確な診断が求められる一方で、これらは互いに見た目が似ることがあることから誤った診断がなされ、不適切な治療が行われてしまう場合があることが問題となっています。

この研究では、深層学習などの Artificial Intelligence (AI)技術を利用することで、病変の写真(臨床写真)からこれらの疾患を正確に鑑別するためのデータベースを構築し、診断支援ツールを作成することを目的としています。これらを利用することで診断正確性の向上、迅速に適切な治療を提供することに役立て、より良い医療の提供に貢献したいと考えています。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から 2027 年 3 月 31 日

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2014 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、京都大学医学部附属病院皮膚科を受診した患者さんで以下の疾患と診断された方を対象とします。

老人性色素斑、雀卵斑、肝斑、ADM、炎症性色素沈着、太田母斑、扁平母斑
皮膚腫瘍(悪性黒色腫、基底細胞がん、脂漏性角化症など)

7. 利用または提供を開始する予定日

京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降

8. 試料・情報の利用目的・利用方法

対象疾患の臨床写真と診断名を主研究機関に提供し解析します。試料・情報は個人が特定されない形で用いられます。

9. 利用または提供する試料・情報の項目

試料: 臨床写真

情報: 診断名

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

札幌医科大学 皮膚科 教授 宇原 久
京都大学医学部 皮膚科学教室 教授 梶島 健治
愛媛大学医学部附属病院 皮膚科 教授 藤澤 康弘
かねとも皮膚科クリニック 院長 金友 仁成
医療法人葛西形成外科 理事長 葛西 健一郎

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

梶島健治

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

連絡先までお知らせいただければ研究計画書を提供いたします。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

運営費交付金

2) 提供者と研究者との関係

提供者は研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与していません。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者等からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学 医学部附属病院 皮膚科 梶島健治
(Tel) 075-751-3310

2) 各研究機関における相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp